

やすらふ

co-wall

【企画展】

筑波大学大学院に所属する二人の彫塑家の作品計25点を展示した。



概要

会期：2026.2.12(水)-3.8(日)

時間：7:30 ～ 23:00

会場：co-wall / ホテル日航つくば内

展示壁④, ⑤, 展示台

料金：入場無料 / 会期中無休



関連イベント

鑑賞会

作品を見て、思ったことや感じたことを自由に話し合う鑑賞会を行なった。

開催日時

2月20日(金) 19:00-20:00

2月28日(土) 11:00-12:00

2月28日(土) 17:00-18:00



作家プロフィール

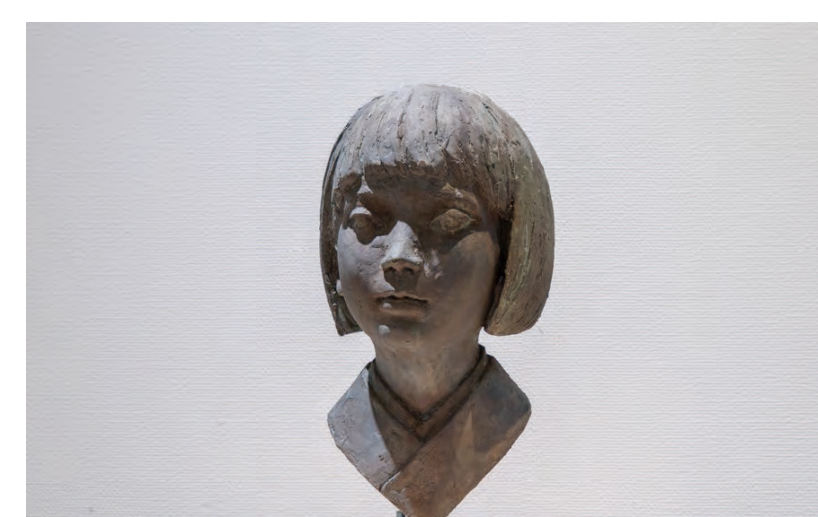
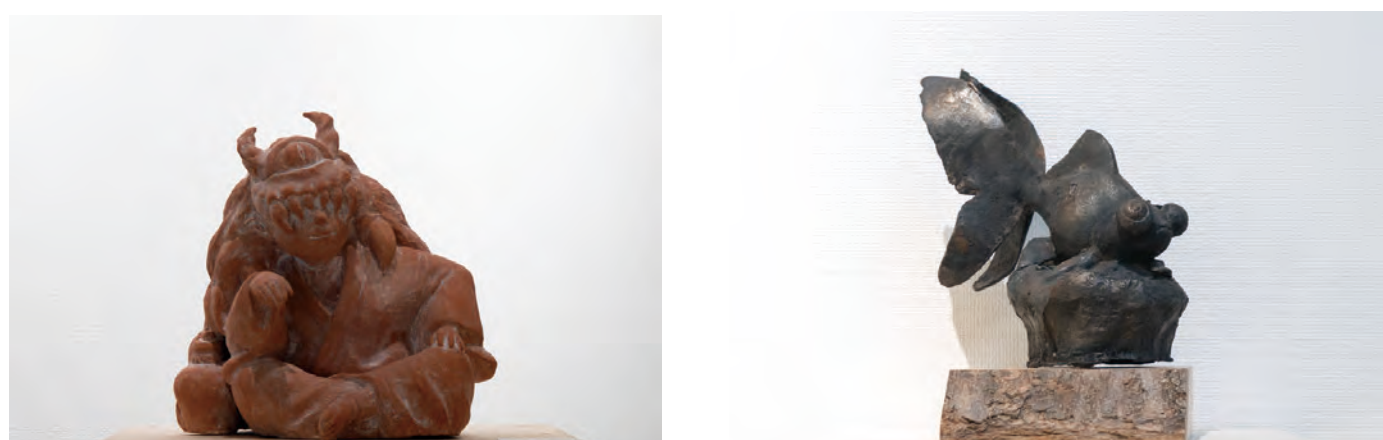
きたはら ともか
北原 朋佳

鹿児島県出身
鹿児島大学教育学部 卒業
筑波大学大学院 芸術学学位プログラム 博士前期課程 修了
同 博士後期課程 在学中

人体の美しさを探求し、フォルムや色彩を用いたアプローチで表現を試みる。
人体塑像を中心に制作。日展をはじめとする公募展に多数出品。

展示会に寄せて

人体塑像を中心に制作しています。
今回は本展のテーマ「やすらふ」に合わせて作品を選びました。
作品を見た人それぞれが、自分の記憶や感情を重ねて受け取れるような、
解釈の余白を楽しんで欲しいと思います。



作家プロフィール

わだ なおき
和田 尚輝

2003 年 千葉県生まれ
2025 年 筑波大学芸術専門学群卒業
2026 年 筑波大学大学院 芸術学学位プログラム 博士前期課程 在学中

受賞歴
2025 年 第 78 回二紀展 優賞受賞
2025 年 第 74 回千葉県美術展覧会 県議会議長賞受賞

展示会に寄せて

猫の姿は、やわらかく、したたかで、そして移ろいやすいものだと感じています。
今回の作品の中には、同じ型から生まれたものもありますが、テラコッタとブロンズ、つまり土と金属という異なる素材によって、まったく違う表情や気配を見せてくれます。
土は、手の温もりをそのままに呼吸し、やがて時間とともに変化してゆく。
金属は、熱で鍛えられ、重さと静けさをまとして立ち上がる。
同じかたちでありながら、そこに宿る「いのち」は決して同じではありません。
猫というモチーフを通して、形と素材、存在と時間のあいだにある「変わらないもの」と「変わりゆくもの」を、少しでも感じていただけたら嬉しいです。



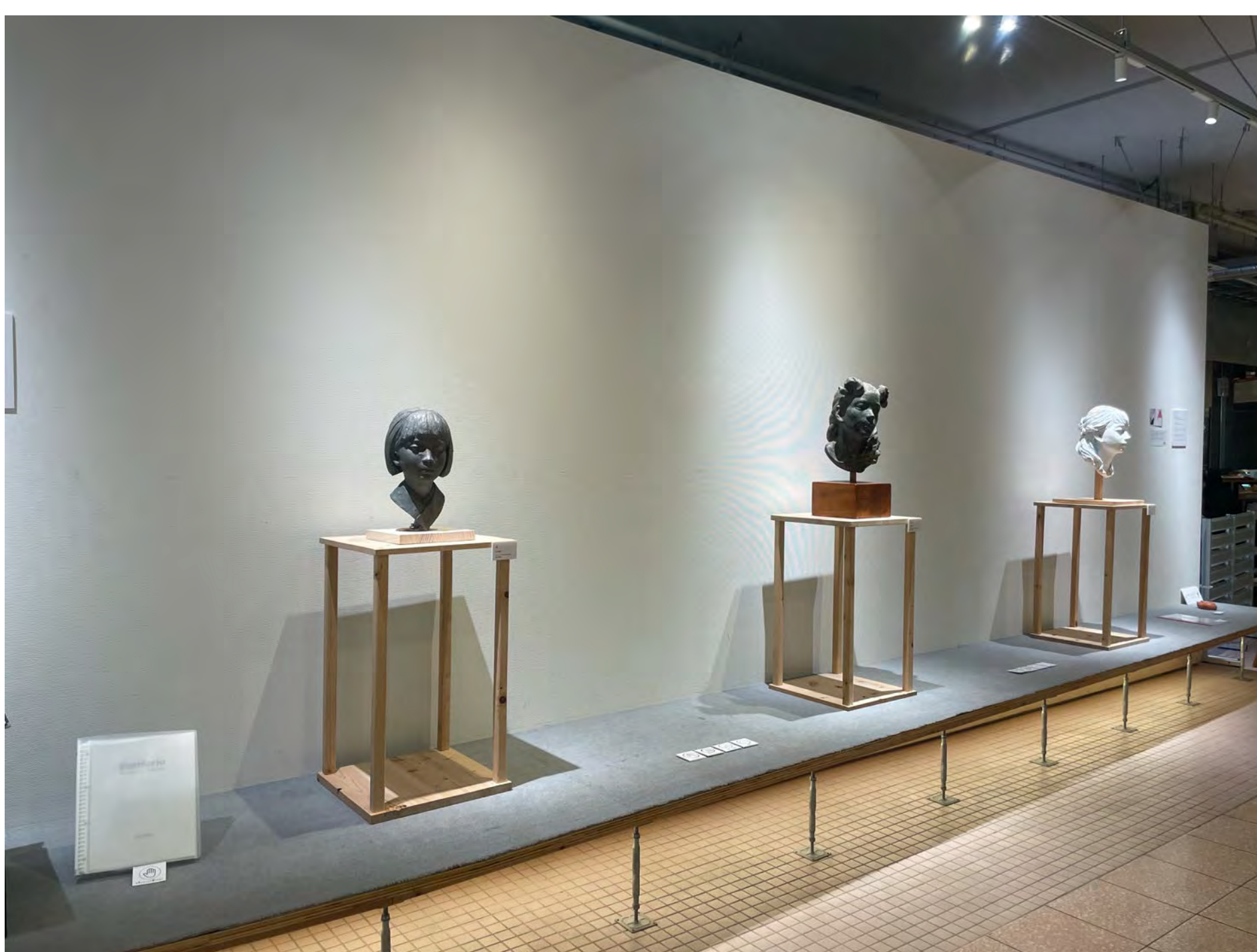
展示の様子



↑ 壁④

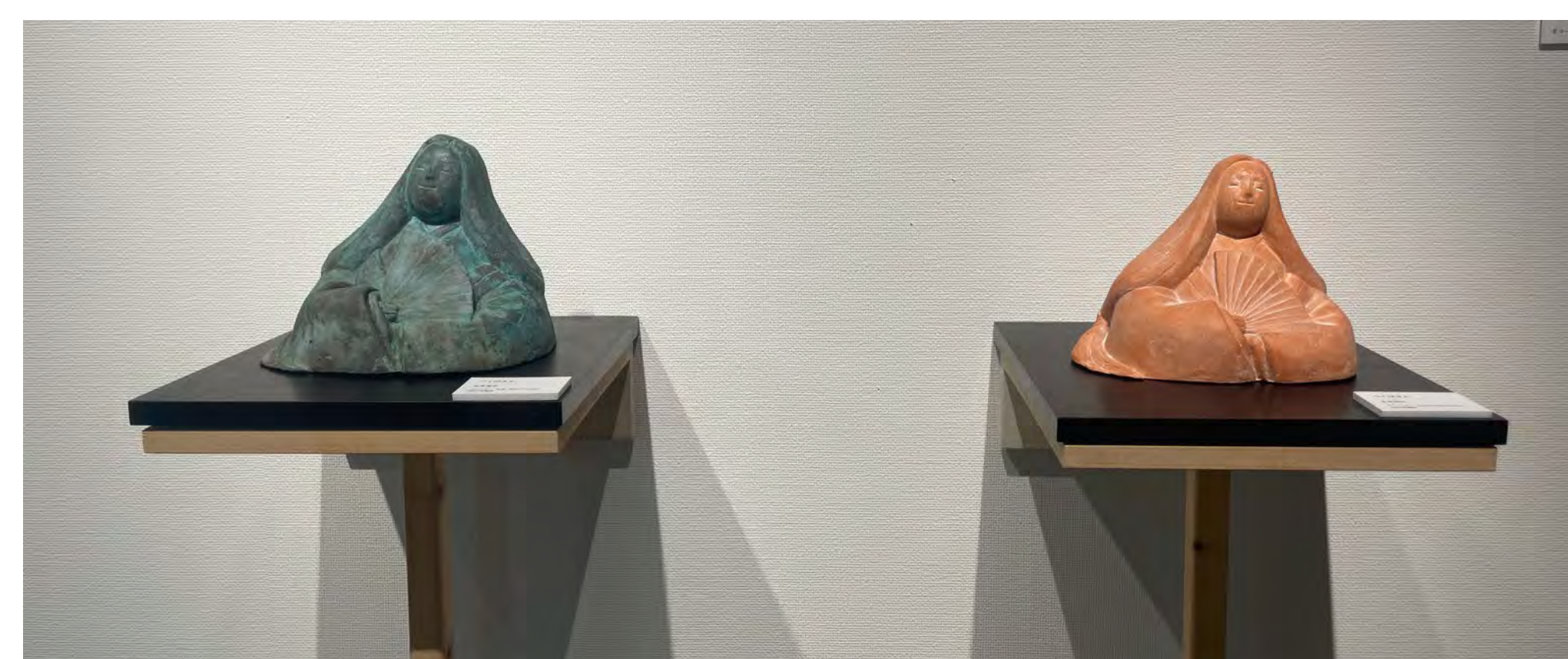


ホテル日航 つくば内↑



↑ 壁④

↓ コワーキングスペース内



↑ 壁⑥

展示台↓

